

日本学術会議
社会学委員会・経済学委員会合同包摂的社会政策に関する
多角的検討分科会社会的包摂分科会（第25期・第5回）
議事要旨

日 時：令和4年1月9日（日）10：30～12：00

場 所：オンライン開催

出席者：須田木綿子、大沢真理、木本喜美子、住居広士、野口定久、本田由紀、丸谷浩介、宮本太郎、湯澤直美、和氣純子

欠席者：岩崎晋也

議 題

（1）前回議事録確認

（2）シンポジウムの開催について検討し、以下の案が合意された。

①日程：令和4年4月23日（土）または24日（日）開催を目指す。

②開催方法：オンライン開催

③登壇者（案）（敬称略）

話題提供(1)個人化の時代の包摂ロジック（須田委員長）

同 (2)静岡モデルについて

同 (3)内閣官房の取り組みと調査結果の紹介

指定討論者：地域・社協（野口委員）

ジェンダー（大澤委員）

格差・分断（宮本委員）

（3）今後の予定について

シンポジウム登壇予定者と交渉および日程調整を図り、1月末日をめどに企画案を作成し、2月の幹事会へ提出する。なお、調整結果はメールで確認を行うが、最終決定は委員長に一任する。

以上